

ポスト SGH 体制について

令和2年4月1日

1 佐野高校・同付属中学のこれまでの歩みと今後の状況

- ＜アピールポイント＞
- ① 附属中の開校からの3年間（2008～2010） → **中高一貫教育への期待**
(グローバル人材の育成)
 - ② 1期生が高校に進学してからの5年間（2011～2015） → **中高一貫教育校としての成果**
○カナダ語学研修(2011～)、海外修学旅行(2012～)
○東大、東工大、医学部等、難関大の合格者輩出
(男女共学の進学校)
 - ③ SGH 指定期間の5年間（2016～2020） → **本県唯一の SGH 校**
○大学進学実績の飛躍的な向上（2018～）
◇総合的な探究の時間の先行実施（2019～）
◇大学入学共通テスト（2020～）
(高校教育改革のトップランナー)
 - ④ **ポスト SGH の5年間**（2021～2025） → **ポスト SGH 構想**
 - ◆あそ野学園義務教育学校の開校（2020～）
 - 葛生義務教育学校の開校（2024～）
 - ◆足利の新校（男女共学）の開校（2022～）
 - 新校舎（70億円）への移転（2024）
 - ◇新学習指導要領（中学：2021 から完全実施、高校：2022 から年次進行で実施）

* 今後は佐野市内、足利市内からの中学生、高校生が集まりにくくなる



☆新学習指導要領、中高一貫教育や SGH 活動の成果や課題等を踏まえた **ポスト SGH 構想** (5年間)を策定

(ポスト SGH 構想を進める全校体制 → **ポスト SGH 体制** を構築)

2 「ポスト SGH 構想」策定への手順 ～ SGH という言葉は今年度までしか使えない!

- ① 分析・検証 ～ 何が良かったのか?
 - ・進路実績（特に SGH 1 期生、2 期生）
 - ・SGH 活動（報告書）
 - ・中高一貫教育
- ② 中高6年間で育成する資質・能力の設定
 - ・SGH 構想では、田中正造から学ぶグローバルリーダーの資質・能力として、課題を発見し向き合う力、英語で伝える力 など6つを設定していた。
 - ・新学習指導要領、中高一貫教育や SGH 活動の成果や課題等を踏まえ、今後の5年間で育成する資質・能力を再設定。
- ③ 資質・能力を育成する中高6年間の教科指導や教育活動の再構築(カリキュラムマネジメント)
 - ・総合的な学習の時間（中学）、総合的な探究の時間（高校）、各教科、CTP 等



新たな教育活動の特徴を表す**キーワード** (次の5年間のアピールポイント)

3 今後の検討スケジュールの目安

- ・来年度の中学生に対する説明会や高校の一日体験学習で説明することを目途に進める。